

目次

(1) 事業報告 ①

■外国人府民への情報流通促進調査事業の報告
～行政情報の流れについて～

(2) お知らせ

■コミュニティー通訳研修開催のお知らせ
■平成 23 年度 OFIX 事業計画
■大阪府国際化戦略

(3) 大阪府外国人情報コーナーだより

■こどもが生まれたら

(4) 事業報告 ②

■東日本大震災への OFIX の取組み
■東日本大震災における多言語支援 —OFIX で災害翻訳者として—

(5) OFIX 事業紹介

■安藤基金・大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘プログラムのご紹介

(6) OFIX 国際交流員のレポート

■カラオケとフィリピン人

(1) 事業報告①

■外国人府民への情報流通促進調査事業の報告～行政情報の流れについて～

外国人府民に行政情報がどのように流通しているかを調査し、今後の効果的な情報提供に資することを目的に調査を行ってきました。調査にご協力いただいた外国人府民の人数は 459 人にのぼります。

グラフ 1:ヒアリング対象者の所属分類

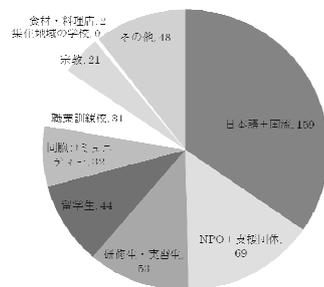
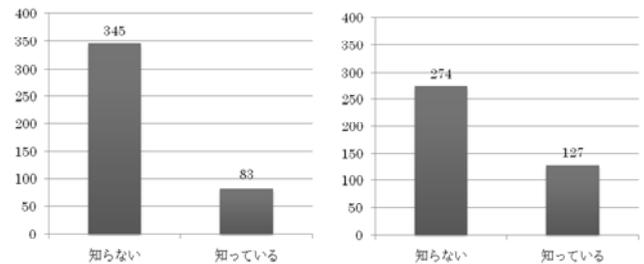


表 2: 日本語での会話

できない	34
ゆっくり話してもらえば、コミュニケーションはできる	146
日常会話であれば、応答に支障がない	114
業務上の会話において大きな支障はない	85
どんな状況においても、適切にコミュニケーションができる	74
無記入	6

行政情報の認知度についてもお聞きしましたが、多言語での相談窓口や多言語情報紙の認知度は低く、行政情報の提供の難しさを改めて知る結果となりました。



「多言語での相談窓口を知っていますか」 「多言語情報誌を知っていますか」

また、困った経験をその時に必要だった情報や解決方法とともにお聞きしました。困ったときの解決方法には、友人に助けってもらったり、近所の人や日本語教室の先生に協力してもらったりしていることがわかりました。

地域の皆さまが行政情報の流通に大きな役割を担っていることが分かりました。

OFIX でも多言語支援の取り組みを進めてまいりますので、皆さまの御協力、御支援よろしくお願いたします。

(2) お知らせ

■【コミュニティー通訳研修開催のお知らせ】

日本に住んでいる外国人の方の市役所などでのコミュニケーションの橋渡しをする「コミュニティー通訳」を養成する研修を開催します。通訳者の心構え、通訳者として知っておくべき制度、ロールプレイなどを盛り込んだ 3 日間の研修です。詳しくはこちら:

<http://www.ofix.or.jp>

日時: 1 日目 5 月 16 日(月) 13:20～17:00
2 日目 5 月 23 日(月) 10:00～16:00
3 日目 5 月 27 日(金) 10:00～16:00

■大阪府国際化戦略

大阪府では、平成22年12月に策定した「大阪の成長戦略」を踏まえ、大阪の成長に必要な「大阪の国際競争力の強化」を図るため、「大阪府国際化戦略」を策定しました。

この戦略は、世界・アジアから、多くの人・モノ・資金を大阪に呼び込むとともに、大阪の人材・技術の国際競争力を高めることを目指して、10年後の目標を定め、大阪府が取り込む国際化施策の方向性や具体的取組みを明らかにしたものです。

併せて、今後5年間に大阪府が取り組む国際化の具体策を「大阪府国際化戦略工程表」として取りまとめ、事業を進めることとしています。

今後は、この戦略に基づき、関係機関とも協力しつつ大阪の国際競争力の強化に向けた取組みを進めていきます。

詳しくはこちらをご覧ください

http://www.pref.osaka.jp/kanko/i_senryaku/result.html

■平成23年度 OFIX 事業計画

新しい年度が始まりました。大阪府国際交流財団では、平成23年度は、府が新たに策定した戦略に基づき、府や他の民間団体との連携強化を図りながら、大阪の国際競争力の強化に向けて重点的に事業展開を図っていくこととしています。

具体的には、「グローバル人材の育成」「外国人の受入促進・活動環境整備」「国際交流情報の発信」の3つの柱での事業展開を行います。

グローバル人材の育成の中心的事業は、国際理解教育の推進です。小・中・高等学校などに外国人サポーターを派遣し、母国紹介や英語でのコミュニケーション機会の提供、グローバルに活躍できる人材育成

のためのワークショップなどを展開していきます。

外国人の受入促進・活動環境整備では、主に大阪府外国人情報コーナーの運営や語学ボランティアの活動促進による多言語支援に力を入れていきます。通訳サポーター育成のための研修や実践の機会などを強化します。

国際交流情報の発信では、ホームページや OFIX ニュースなどを活用して様々な情報を提供していきます。

皆様のご協力・ご参加をよろしくお願いいたします。

(3)大阪府外国人情報コーナーだより

■こどもが生まれたら

日本人と同様、外国人同士の夫婦の間に日本で子どもが生まれたら、出生から14日以内に住所地の市役所に出生届を出します。病院からの出生証明書、市役所から出されている母子手帳、また保険証などを持参し、手続きを行います。日本は国籍の付与に関しては、アメリカやカナダのような「生地主義」ではなく、「血統主義」を取っており、外国人同士の親から生まれた子どもは、日本で生まれても日本国籍を自動的に取得することはありません。そのため、60日以内に外国人登録の新規登録を行います。また60日以上日本に在留する場合は入管で在留資格取得の申請を出生後30日以内に行います。この場合、出生を証明する書類などが必要です。この時点で自国の公館から子どものパスポートの取得がまだの場合は、「在留資格

証明書」が発行されます。パスポートが発給された時点で、入管で「証印の転記」の手続きを行います。パスポートの申請時に子どもの親の在日公館に出生を届けます。その際の手続きや必要書類については、在日公館に問い合わせてください。

◎大阪府外国人情報コーナー

(月～金曜日(祝日を除く))

(対応時間:9:00～17:30)

専用電話:06-6941-2297 FAX:06-6966-2401

E-mail:jouhou-c@ofix.or.jp

対応言語:英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、日本語

(4)事業報告②

■東日本大震災への OFIX の取組み

このたびの東日本大震災により被害を受けられた被災地の皆さまに、心からお見舞い申し上げます。大阪府国際交流財団では、被災された外国人の方を対象に次の支援を行います。

1 多言語での情報提供

大阪府外国人情報コーナーでは、多言語での情報提供を実施しています。また、OFIX ホームページでは、震災に関する多言語での情報提供等を行うウェブサイト等を掲載していますので、ご活用ください。

2 被災者受入支援

東日本大震災の被災外国人に対し、渡航手続期間や他施設への入居手続期間等の一時的・短期の滞在のため、大阪府堺留学生会館オリオン寮及びOFIX ホームステイへの受入を行います。

詳しくは、大阪府国際交流財団企画推進グループまでお問い合わせください。

なお、大阪府営住宅等における被災者の受入支援等については、大阪府のホームページをご覧ください。

http://www.pref.osaka.jp/koho/tohoku_jishin/ukeire.html

3 災害情報の翻訳支援

東北地方太平洋沖地震多言語支援センターが提供する災害情報の多言語化に協力しています(大阪府内の国際交流協会等が協力して中国語の翻訳を担当)。

引き続き、語学ボランティアやホストファミリーの皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

また、大阪府においても、「東日本大震災」により被害を受けられた被災地の皆様への支援情報を大阪府ホームページ上で、下記のとおり多言語により提供されています。

【項目】

1. 被災者の方へ(受入等のご案内)
2. 府民の方へ(支援等のお願い)
3. 府民の方へ(お知らせ)
4. リンク集

情報は随時更新されます。

大阪府支援情報のページ(日本語)

http://www.pref.osaka.jp/koho/tohoku_jishin/index.html

多言語情報(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語)

http://www.pref.osaka.jp/attach/12666/0000000/foreign_language.pdf

■東日本大震災における多言語支援 —OFIX で災害翻訳者として—

彭 瓊 林 (ポン チュン リン)



3月11日東日本大震災の発生直後、在日外国人に確かな災害情報を提供するために、NPO 多文化共生マナージャー全国協議会は災害情報多言語支援センターを立ち上げました。OFIX、大阪国際交流センター、吹田市国際交流協会、とんだばやし国際交流協会、箕面市国際交流協会の五団体は依頼された中国語翻訳を行うことになりました。

作業は日本語の原文を翻訳し、チェック、納品という流れになります。各団体が日と作業を決めて交代で担当しています。4月15日現在で、115報を翻訳しました。

私は OFIX の職員として、日常業務の傍ら4月中旬まで OFIX の中国語災害ボランティアの方と一緒に、毎週二回、月曜日と木曜日に翻訳とチェックを担当しました。4月中旬になってからは被災地の多言語支援

状況も落ち着いてきたのか、翻訳の分量が少なくなり、それに伴い、私の担当も週一回、木曜日の朝にチェックを担当するのみになりました。

今回の翻訳は緊急の上、専門性が高い単語が多く、またひらがな地名や、日本にしかない「国字」の表記など、戸惑いの連続でした。被災されている外国人(言語から言うと私の翻訳文の読み手は中国人)にわかりやすく伝えるか、その一心で辞書とインターネットで調べながら翻訳またはチェックをしてきました。私にとって初めての経験ですが、多くのことを学びました。また災害ボランティアの皆様が早くご協力を頂いたことに、この場を借りて改めてお礼を申し上げます。

《被災外国人への情報発信に参加しませんか?》被災地に設置される支援拠点施設等で翻訳の活動をしていただくボランティアを募集しています。一緒に被災した外国人に自分達が出来る支援を考えてみませんか?

詳細はこちら

<http://www.ofix.or.jp/boran/index6.html>

(5) OFIX 事業紹介

■ 安藤基金・大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘プログラムのご紹介

このプログラムは1992年5月、大阪が世界に誇る建築家・安藤忠雄氏が、デンマーク・カールスバーグ社の世界の建築の発展に貢献した建築家を顕彰するため創設した「国際建築家賞」(第1回)を受賞されました。副賞の3,000万円を大阪と海外の文化交流に役立てたいとのお気持ちから、副賞賞金の全額を大阪府に寄贈されました。大阪府国際交流財団では大阪府を通して安藤忠雄氏による寄付金を受け取り、安藤忠雄・カールスバーグ賞受賞記念事業として、「大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業」を発足いたしました。当事業の趣旨に賛同された有志の方々によ

ってもたらされた寄付金を活用して毎年、建築・芸術を専攻しているアジア各国より約10名程度の生徒を大阪に招き、秋に約1カ月間の研修を行っています。

1993年から始まったこの事業も今年で20年目を迎え、これまでに19カ国・地域から159名を招聘してきました。研修中は各自が日本を代表する建築会社にて10日間程の企業実地研修では、建設中の現場視察や最新技術についての説明などを受ける体験をして頂きます。その他に、日本の学生とのディスカッションや京都及び大阪でのスタディーツアー、安藤忠雄氏設計建築物視察などが盛り込まれております。研修以

